

事業者向け 放課後等デイサービス自己評価表

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	改善目標	工夫している点
環境・体制整備	① 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	7	2		・物の配置は更に工夫が必要。 ・広さはあるが部屋数がないため目的別で区切れない。	・個別指導訓練室や個別にスペースを作り、クールダウンしたり個別対応できる環境にしている。 ・パーテーションや移動できるホワイトボードなど活用し工夫している。 ・机に名札を貼り各自のスペースを確保している。
	② 職員の配置数は適切であるか	8		1	・利用者数に対しあと一人職員を減らした人数で対応できるプログラムの工夫。	・個別対応の多い曜日はギリギリだが常勤が補っている。 ・欠勤や人数不足があると当日でも出勤してくれる方もいる(パート職員)
	③ 事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	2	5	2	・建物が2階でエレベーターが無い。(改善は難しい)	・室内には段差のない配慮となっている。
業務改善	④ 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	7	1	1	・改善して取り組むが、振り返りを職員間で行うことが少ない。	・月3回の会議(不参加の方は議事録を読み情報共有している)、日々の申し送りや昼礼でパート職員を含め参加・意思疎通をはかっている。
	⑤ 保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	3	5	1	自己評価表と合わせてフィードバックを行なう。	今回から実施
	⑥ この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	1	6	2	HPにて公表を行なう。	〃

	⑦ 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか		6	3	・外部評価は行っていない。今後の取り組みを検討。	
	⑧ 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	9			・外部研修に参加した職員が事業所への報告、落とし込み。	・全職員対象に法人内、外の研修を実施している。
適切な支援の提供	⑨ アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	7	2		・保護者の都合上、期限内にモニタリングを行なえていない方もいる。日頃から保護者との情報交換は必要。 ・他機関との連携をさらに強化する。	・モニタリングを行ない、月1回会議にて報告・周知・見直しをしている。
	⑩ 子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	4	3	2	・契約時の段階のみ実施しているため、途中経過が課題。	・アセスメントシート活用しサービス提供時活用している。
	⑪ 活動プログラムの立案をチームで行っているか	8	1		・活動内容だけでなく、目的・目標も具体的に挙げられるように。	・毎月会議にてPDCAサイクルにより質の向上を目指している。
	⑫ 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	8	1		・継続して取り組む場合は、行う意味も話し合えるように。	・会議の中で月単位で去年の活動内容を振り返り、同じにならないよう取り組んでいる。
	⑬ 平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	7	2		・長期休暇の場合は細かくではなく、利用者の様子など見て午後の活動内容を決めることもある。	・学校休業日には外産体験や工場見学等も取り入れている。 ・土曜日の活動内容は職員、子ども達と翌月の活動内容を考案している。
	⑭ 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	8	1		・個別活動に偏ってしまう利用者もいるので集団の中での過ごし方も検討していく。	・利用者の障害特性、年齢に合わせ集団・個別・作業課題等を取り入れ計画している。
	⑮ 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	9			・1つの活動内容しか決めていないので、取り組みなかった場合の対策も準備しておく必要がある。	・当日勤務される職員間で毎日昼礼として送迎・利用者状況・同じ曜日の先週の様子などを確認し合っている。

関係機関や	⑯	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	5	3	1	・職員全員申し送りを確認していると思うが確認印などない為曖昧な部分はある。	・申し送り用紙に記入、PCに当日の様子を一人ひとり記録を取り各自確認をし共有している。
	⑰	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	9			・申し送りの記入欄にその日出動した職員全員が必ず気づきを記入する。	・申し送り用紙については責任者、常勤(主任)が内容確認後印を押す欄を設けている。会議などで問題点を共有できるように把握している。
	⑱	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	8	1		・保護者だけの意向だけでなく、利用者の希望・目標も同時に聞いていくことが課題。	・半年に1回モニタリングを責任者が行い、従業者もモニタリング後の会議に参加し情報共有、見直し・振り返りを行なっている。
	⑲	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせさせて支援を行っているか	7	2		・更なる質の向上を目指す。 ・個別な活動に対してのプログラムがまだ不十分。 ・地域との交流は課題。	・自立支援や創作活動、社会体験活動等設定し支援している。
	⑳	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	2	3	4	・担当者会議は一度も行われていない。サービス等利用計画を更新されていない利用者もいる。情報共有していく必要がある。	・担当者からモニタリングとして様子を聞かれる場合は、情報を伝えている。
	㉑	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか	6	3		・長期休み時の担任教諭との支援計画のする合わせ、情報共有を行なう。	・保護者を通して情報共有、連絡調整を行なっている。担任の先生とは引き渡し時当日の様子を確認している。
	㉒	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか	3	4	2	・通院先の変更、服薬の変更等その都度保護者と共有できる体制づくり。	・医療的ケアが必要な子どもは現在いない。医療機関への通院先は個人情報に記載されている。発作対応は職員間で共有している。

保護者との連携関係機関や保護者との連携	㉓	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	2	4	3	・中学生、高校生になってからの利用が多いため就学前の情報はない。新規利用者で小学低学年の方を受け入れる場合は共有していく。	・他に通所されている放課後等デイサービスには確認、情報共有している。
	㉔	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	1	5	3	・率先して移行された事業所へ情報を提供できるよう取り組む。	・就労先から依頼があった場合のみ対応。保護者を通して情報を提供する場合もある。
	㉕	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか		5	4	・常勤職員が研修に行く事が課題	・発達障害支援センターの連絡先、案内は掲示している。
	㉖	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	1	4	4	・環境調整、安全配慮を行なった上で交流する機会の場を検討していく。	・以前は児童館の利用も活用していた。年齢が高くなり、他での関わりを模索中。
	㉗	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか		6	3	・責任者から参加していき、他法人の取り組みを把握していく。	
	㉘	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	8	1		・連絡帳未記入、送迎時保護者対応でない利用者の場合の共通理解が疎かになっている。モニタリング以外にも確認していく。	・連絡帳や送迎時に共有している。
	㉙	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	4	3	2	・ペアレント・トレーニングへの研修に参加し的確なアドバイスが出来るようにする。	・通信にて保護者へ対し福祉の情報を記載し伝えている。
	㉚	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	5	3	1	・時間の変更時、配布のみで終わらせてしまったので個々に説明の連絡を入れる必要がある。	・契約時に説明を行なっている。サービス提供時間の変更の際も事前にお知らせを配布し伝えている。

保護者への説明責任等

①	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	5	4	・助言をしただけで終わってしまうので相談を受けた後、その後の様子や変化など確認していく。	・モニタリングの際に相談された場合は、事業所で取り組んでいること成功体験を伝えている。モニタリング前の場合は電話対応で話すこともある。
②	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	6	3	・参加していただいた場合は、事業所の取り組み・情報を伝えることが多いので保護者同士の共有している時間の確保。 ・参加できなかった場合の対応が不足している。参加率を上げることが課題。	・参加率を上げるため利用者と父母が一緒に参加する行事を取り入れた。
③	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	7	2	・保護者への周知は契約時のみになっているので、保護者会の時などにも説明が必要。	・苦情があった場合はすぐに責任者へ報告し従業員も申し送りや報告書を通して共有している。 ・重要事項説明書にも苦情受付について記載され第三者委員まで配置している。
④	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	8	1	・通信を配布するだけでなく、送迎時に特に確認していただきたい項目を口頭で伝える等対策を行なう。	・毎月1回通信を発行している。行事予定だけでなく、写真も載せ活動の様子が分かるようにしている。
⑤	個人情報に十分注意しているか	9		・一覧表にし見落としが無いようにする。	・鍵のかかるキャビネットへ保管、持ち出しは禁止にしている。 ・個人情報取り扱い扱いは毎年保護者へ再確認を行なっている。(顔写真など)
⑥	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	9		・保護者へは連絡帳へ記載されていた内容など抱えている悩みを引き出し改善へ繋げていく。	・利用者に対しては写真、絵カード等を使用して情報提供している。 ・保護者に対しては連絡帳だけでなく送迎時にも様子を伝えている。

非常時等の対応

⑦	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	6	3	・事業所で地域への携わりをどのように取り組むか会議で話し合う。	・法人としてはアート展を開催したり取り組んでいる。	
⑧	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	6	3	・保護者へマニュアルの周知は行なえていない。どの場面で伝えていくか検討。	・職員へは入職時にOJTの中で伝えている。いつでも閲覧できるように1つのファイルでまとめている。	
⑨	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	9		・限られた回数しか行っていないので、日々の昼礼時に職員の役割分担の確認、認識が必要。	・年2回利用者も含め避難訓練を行っている。 ・日頃からその日の点呼、確認担当は決めている。	
⑩	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	9		・虐待にあたる内容を取り上げ職員間で共有していく。	・法人全体研修の1つとして虐待研修を毎年行っている。講師は外部の方に依頼している。 ・虐待アンケート調査も実施している。	
⑪	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	2	5	2	・身体拘束に繋がる事案が出た場合、虐待防止センターへ相談できる体制を作り保護者の同意後計画書へ記載していく。	
⑫	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	5	4	・最新の情報を確認できるよう、保護者と共有していく。	・保護者からの情報で共有している。 ・すぐに確認できる場所へ掲示している。	
⑬	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	8	1	・事例集は作成していない。事故報告を防ぐためにヒヤリハットを適時出すようにしている。	・ヒヤリハットを記入し職員間で共有。再発防止についてどう取り組むか協議している。	